

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社エイチアンドエフ
【英訳名】	Hitachi Zosen Fukui Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宗田 世一
【本店の所在の場所】	福井県あわら市自由ヶ丘一丁目8番28号
【電話番号】	0776（73）1263
【事務連絡者氏名】	経理部長 山田 幸一
【最寄りの連絡場所】	福井県あわら市自由ヶ丘一丁目8番28号
【電話番号】	0776（73）1263
【事務連絡者氏名】	経理部長 山田 幸一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第1四半期連結 累計期間	第50期 第1四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	6,768,693	5,679,138	23,779,354
経常利益 （千円）	1,327,695	493,098	2,671,011
四半期（当期）純利益（千円）	1,092,547	363,762	1,601,272
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	1,248,449	461,501	1,724,023
純資産額（千円）	8,361,708	9,003,215	8,837,271
総資産額（千円）	19,708,372	22,414,590	21,708,160
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	110.92	36.93	162.57
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	42.4	40.2	40.7

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2．売上高には、消費税等は含んでおりません。

3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）におけるわが国経済は、新政権の経済対策、金融政策の効果等を背景に、着実に持ち直してきておりますが、海外景気の不確実性が、引き続きわが国経済の下振れリスクとなっております。

当社グループの主要顧客である自動車業界におきましては、円高の是正や政府の「成長戦略」も追い風となる中、引き続き新興国や北米を中心に販売が好調を維持しており、設備投資は堅調に推移しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の受注高につきましては、自動車業界各社の設備投資が堅調に推移していることを受け、プレス機械は6,962百万円（前年同四半期比129.3%増）と前年同四半期を大きく上回りましたが、F Aシステム製品は1,824百万円（前年同四半期比7.1%減）と前年同四半期並みに止まり、アフターサービス工事は1,563百万円（前年同四半期比51.0%減）と前年同四半期を大きく下回りました。全体では10,349百万円（前年同四半期比26.4%増）と前年同四半期を上回りました。受注残高は前連結会計年度末に比べ4,670百万円増加し26,196百万円となりました。

売上高につきましては、プレス機械は3,154百万円（前年同四半期比57.2%増）と前年同四半期を大きく上回ったものの、F Aシステム製品は1,485百万円（前年同四半期比1.9%減）と前年同四半期並みに止まりました。アフターサービス工事は昨年度はタイの洪水の復旧工事があったため1,038百万円（前年同四半期比68.0%減）と前年同四半期を大きく下回りました。全体では5,679百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

損益面につきましては、アフターサービス工事の売上減により、営業利益502百万円（前年同四半期比63.3%減）、経常利益493百万円（前年同四半期比62.9%減）、四半期純利益363百万円（前年同四半期比66.7%減）とそれぞれ前年同四半期を大きく下回りました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ618百万円増加し、18,821百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、3,592百万円となりました。これは、主に有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ540百万円増加し、13,411百万円となりました。これは、主に未払法人税等は減少したものの、未払金及び前受金が増加したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、9,003百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、50百万円であります。

また、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,400,000
計	35,400,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,850,000	9,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株
計	9,850,000	9,850,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	9,850,000	-	1,055,000	-	747,400

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,849,400	98,494	単元株式数は100株
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	9,850,000	-	-
総株主の議決権	-	98,494	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 （％）
株式会社エイチアンドエフ	福井県あわら市 自由ヶ丘1丁目8-28	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,759,508	8,746,153
受取手形及び売掛金	7,686,960	8,331,119
商品及び製品	43,959	42,603
仕掛品	549,552	672,029
原材料及び貯蔵品	148,243	170,610
繰延税金資産	260,058	327,250
その他	757,264	534,866
貸倒引当金	2,658	2,743
流動資産合計	18,202,890	18,821,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,026,493	1,012,774
機械装置及び運搬具（純額）	673,069	627,284
土地	838,364	838,364
その他（純額）	93,817	217,566
有形固定資産合計	2,631,743	2,695,989
無形固定資産		
のれん	40,424	31,095
その他	99,123	104,710
無形固定資産合計	139,547	135,806
投資その他の資産		
投資有価証券	629,077	654,667
その他	105,180	106,519
貸倒引当金	280	280
投資その他の資産合計	733,978	760,906
固定資産合計	3,505,270	3,592,702
資産合計	21,708,160	22,414,590

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,332,196	1,464,697
短期借入金	100,000	100,000
未払金	5,577,250	6,012,346
未払費用	1,499,601	1,495,492
未払法人税等	449,275	271,162
前受金	1,395,692	1,734,191
賞与引当金	334,000	169,020
製品保証引当金	434,860	374,428
受注損失引当金	416,684	510,845
その他	159,600	117,451
流動負債合計	11,699,161	12,249,635
固定負債		
退職給付引当金	1,085,512	1,064,356
役員退職慰労引当金	35,840	38,192
その他	50,375	59,190
固定負債合計	1,171,727	1,161,739
負債合計	12,870,889	13,411,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	747,400	747,400
利益剰余金	7,096,043	7,164,310
自己株式	83	145
株主資本合計	8,898,360	8,966,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,040	79,625
繰延ヘッジ損益	79,150	34,456
為替換算調整勘定	46,479	9,019
その他の包括利益累計額合計	61,589	36,149
新株予約権	500	500
純資産合計	8,837,271	9,003,215
負債純資産合計	21,708,160	22,414,590

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	6,768,693	5,679,138
売上原価	4,910,184	4,684,530
売上総利益	1,858,509	994,607
販売費及び一般管理費	492,021	492,557
営業利益	1,366,488	502,050
営業外収益		
受取利息	1,085	1,480
受取配当金	2,950	3,335
固定資産売却益	-	3,950
その他	1,534	3,302
営業外収益合計	5,570	12,068
営業外費用		
支払利息	721	143
為替差損	41,004	14,907
その他	2,635	5,968
営業外費用合計	44,362	21,020
経常利益	1,327,695	493,098
税金等調整前四半期純利益	1,327,695	493,098
法人税等	235,148	129,336
少数株主損益調整前四半期純利益	1,092,547	363,762
四半期純利益	1,092,547	363,762

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,092,547	363,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,067	15,585
繰延ヘッジ損益	96,872	44,694
為替換算調整勘定	89,095	37,459
その他の包括利益合計	155,901	97,739
四半期包括利益	1,248,449	461,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248,449	461,501
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（四半期連結貸借対照表関係）

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	37,849千円	66,429千円
支払手形	126,339	93,672

（四半期連結損益計算書関係）

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
減価償却費	74,335千円	83,954千円
のれんの償却額	9,328	9,328

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	147,748	15	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	295,495	30	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループ(当社及び連結子会社)は、プレス機械及びその周辺設備の製造・販売・アフターサービス工事を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	110円92銭	36円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,092,547	363,762
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,092,547	363,762
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,849	9,849
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 9 日

株式会社エイチアンドエフ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 新田 東平 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 小幡 琢哉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エイチアンドエフの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エイチアンドエフ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- ２．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。